

製品名: ネクチン 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14532**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	PVRL3
別名	PVRL3; PRR3; Poliovirus receptor-related protein 3; CDw113; Nectin-3; CD antigen CD113
遺伝子 ID	25945.0
SwissProt ID	Q9NQS3
免疫原	抗血清はヒト PVRL3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 184-233

背景

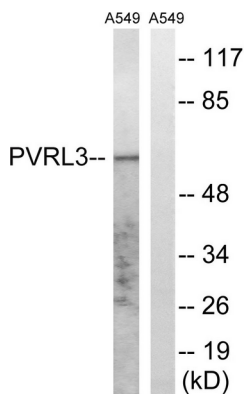
この遺伝子は、接着結合部における接着分子として機能するネクチンファミリータンパク質のメンバーをコードしています。このファミリーメンバーは、他のネクチン様タンパク質や、方向性運動、細胞増殖および生存の調節に関与する線維状アクチン結合タン

パク質であるアフジンと相互作用します。この遺伝子は、毛様体を含む眼の発達に関与しています。この遺伝子の変異は、先天性眼疾患を引き起こすと考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011年8月]、機能: ネクチン様タンパク質またはネクチンとの異好性トランス相互作用 (例えば、セルトリ細胞-精子細胞接合部における PVRL2/ネクチン-2 とのトランス相互作用) を介して、細胞間接着に関与しています。PVR とのトランス相互作用は、SRC や RAP1 などの一般的なシグナル伝達分子を介して、CDC42 および RAC 低分子 G タンパク質の活性化を誘導します。細胞間接合 (接着結合やシナプスなど) の形成にも関与する。エンドサイトーシスを介した細胞表面からの PVR のダウンレギュレーションを誘導し、細胞の移動と増殖を減少させる。毛様体の形態形成に役割を果たす。類似性: ネクチンファミリーに属する。類似性: Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 2 つ含む。サブユニット: シスおよびトランスホモダイマー。PVRL1/ネクチン-1、PVRL2/ネクチン-2、PVR、IGSF4B/Necl-1、および IGSF4 とトランスヘテロダイマーを形成できる。MLLT4/アフジンと相互作用する。TIGIT に低い親和性で結合します。組織特異性: 主に精巣と胎盤、および上皮細胞株を含む多くの細胞株で発現します。、

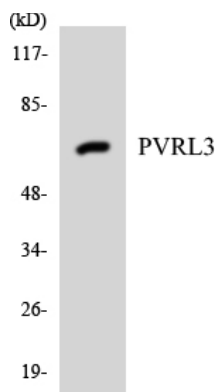
研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;接着結合;

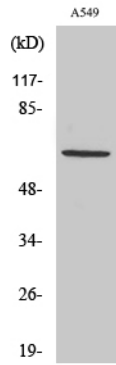
画像データ



PVRL3 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



PVRL3 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



ネクチン3ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析